

CCD バーコードリーダー
BC-HT10
ユーザーズ・マニュアル

株式会社ビジコム

2011.03. Ver.1.06-001

BUSICOM

目次

設定手順	2
設定がおかしくなった時	3
Chap.1 システム情報	
初期化	4
S/W バージョン	4
Chap.2 システムインストール	
インターフェース設定	4
キーボードタイプ	5
言語	5
キーボードウエッジファンクション	6
インターキャラクタディレイ	6
インターメッセージディレイ	7
キーボードスピード	7
終端データ	7
RS-232 パラメータ	8
スキャンモード	10
ブザーセットアップ	11
キャラクタインストール	12
その他設定	17
Chap.3 バーコードインストール	
UPC-A	18
UPC-E	22
EAN-13	24
EAN-8	26
Code39	27
Codabar	29
Code93	31
Code128	32
Inter leaved 2 of 5	34
Industrial 2 of 5	35
Matrix 2 of 5	36
MSI/Plessey	37
Code32	38
Code11	39
付録	
ASCII コード	40
ASCII テーブル	41
ファンクションキーコード	42
コードID 一覧表	43



注意事項

- ・光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
- ・幼児の手の届かない場所をご利用ください。
- ・バーコードの設定以外で使用しないでください。
- ・弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
- ・医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
- ・日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

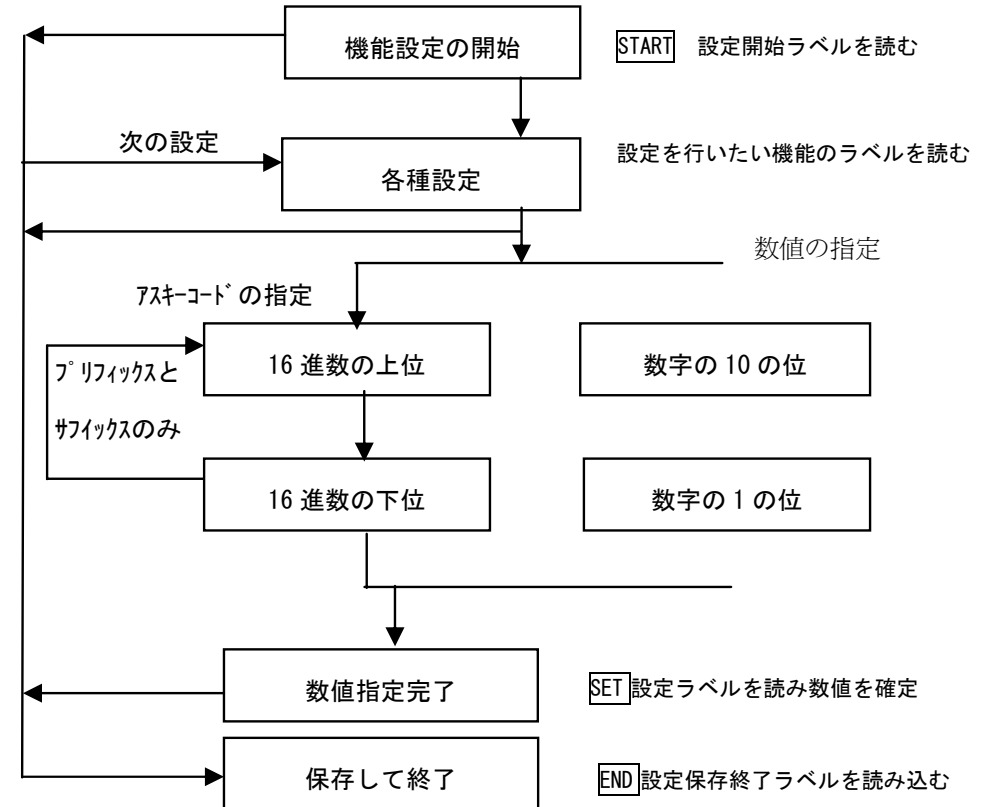
- ・ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
- ・本機を分解改造しないでください。
- ・ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。
ノイズや故障等の原因になります。
- ・ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。
なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
- ・本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- ・本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。
持ち運びや設定の際はご注意ください。

<お問合せ先>

株式会社ビジコム パソコン POS センター
〒112-0014
東京都文京区関口 1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル
TEL: 03-5229-5193 FAX: 03-5229-5199
Web: <http://www.busicom.co.jp>
E-Mail: info@poscenter.jp
営業時間: 平日 10:00~18:00



設定手順





設定がおかしくなった時

何らかの事情で調子が悪くなって出荷時の設定に戻したい場合があります。

弊社のバーコードリーダーは、下記の設定をして出荷しています。

出荷時の設定に戻されたい場合は下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。
(P. XX は、マニュアルのページ番号です。)

1. 設定開始



(ページ右上 設定開始)

2. 初期値の設定



(P. 4 初期化)

3. インターフェースの設定



(P. 4 USB モード)



(P. 4 キーボードモード)



(P. 4 RS-232 モード)

4. 日本語設定



(P. 5 日本語)

5. 設定終了



(ページ右下 設定終了)



基本設定方法

1. 頁右上にある“設定開始”のバーコードをスキャンします。
2. 頁内にある該当する設定コードのバーコードをスキャンします。
3. 頁右下にある“設定終了”のバーコードをスキャンする事で設定を終了します。

パラメータ設定方法

1. 頁右上にある“設定開始”をスキャンします。
2. 頁内にある該当する設定コードのバーコードをスキャンします。
3. 付録頁にある 16 進テーブルコード表から設定するバーコードをスキャンします。
4. 同頁にある“Confirm”のバーコードをスキャンします。
5. 頁右下にある“設定終了”をスキャンして終了です。

注意

表記に <20H-7EH> とある場合は、
16 進テーブルコードの 20~7E の間で設定します。
設定表で、<> に囲まれた部分は、初期値です。

Chap.1 システム情報



初期化



S/W バージョン

Chap.2 システムインストール

2.1 インターフェース設定

インターフェースの設定をします。



<Keyboard>



RS-232



USB





2.2.1 キーボードタイプ

キーボードタイプを設定します。



<PC/AT,PS/2>



IBM XT



IBM PS/2 30-80



IBM 5550



PS/2 25, 30



NEC 9801

2.2.2 言語

言語を設定します。日本語キーボードの場合は、日本語の設定してください。



<英語>



イタリア語



スペイン語



フランス語



ドイツ語



日本語



2.2.3 キーボードウェッジファンクション

ファンクションキーエミュレーション



<OFF>



ON

KB エミュレーション(For NB)



<OFF>



ON

ALT モード



<OFF>

※常に出力したいデータを大文字表記
したい場合 ALT モード「ON」



ON

Caps Lock



<OFF>



ON

Num Lock



<OFF>



ON





2.2.4 文字速度の調整 (デフォルト:00)



付録 A (00H - 64H)

2.2.5 表示速度の設定(デフォルト:00)



付録 A (00H-0AH)

ディレイタイム=セットアップデータ*100(ms)

2.2.6 キーボードスピード(デフォルト:00)



付録 A (00H-08H)

2.2.7 終端データ

バーコードデータの後ろのコードを設定します。



None



<CR>



Tab



ESC



CR + LF



2.3.1 RS-232 パラメータ

RS232C の設定をします。

通信速度



1200



2400



4800



<9600>



19200



38400

データビット



7



<8>

ストップビット



<1>



2

パリティ



<None>



Odd



Even



設定開始



RS-232 ファンクションインストール

ハンドシェイクプロトコルディレイ

文字速度の遅延(デフォルト:00)



付録 A(00H-64H)

ディレイタイム=セットアップデータ*1(ms)

表示速度の遅延(デフォルト:00)



付録 A(00H-0AH)

ディレイタイム=セットアップデータ*100(ms)

ディレイタイムの設定(デフォルト:00)



付録 A(00H-0AH)

ソフトウェアプロトコル



<None>



RTS/CTS



ACK/NAK



Xon/Xoff

2.3.2 終端データ RS232C 用

バーコードデータの後ろのコードを設定します。



None



<CR+LF>



CR



LF



Tab



STX/ETX



EOL

設定終了



設定開始



2.4 スキャンモード



トリガー On/Off



<トリガー On/Good read off>



Continuous/トリガー Off



検査



Continuous/LED 常時点灯



Continuous/タイムアウト Off



フラッシュ On

2.5 ブザーセットアップ

ブザー音の高さと長さの設定を変更することができます。そのほか、起動音と設定音をセットできます。

周波数(デフォルト:0AH) ※高さ



付録 A(00-10H)

音調の調節(デフォルト:05H) ※長さ



付録 A(00-10H)

起動音



ON



OFF

設定音



<ON>



OFF

設定終了





2.6 キャラクタインストール

プリアンブルとポストアンブルキャラクタ：バーコードの前に予め設定した ASCII のデータを登録することができます。設定できる文字数は最大 10 文字までですキャラクタを持続する必要がない場合設定を「0」にしてください。

プリアンブルキャラクタ	バーコード	ポストアンブルキャラクタ
-------------	-------	--------------

プリアンブル (デフォルト:00)



例: 先頭に A と入力したい場合



設定開始



プリアンブル 設定開始コード



4

A と設定したい場合、P. 43ASCII コード表で 4 列目の
1 行目が A となるので、41 と読み込みます。



1



Confirm



設定終了



ポストアンブル(デフォルト:00)



例: 終端に A と入力したい場合



設定開始



ポストアンブル 設定コード



4

A と設定したい場合、P. 43ASCII コード表で 4 列目の
1 行目が A となるので、41 と読み込みます。



1



Confirm



設定終了



設定開始



G1/G2 キャラクタインストール: バーコードの前に予め設定した10文字までのASCIIのデータを登録することができます。付加したいデータがない場合、設定を「0」にしてください。

1. 頁右上にある“設定開始”のバーコードをスキャンします。
2. 次頁にある“G1 インサートキャラクタ”のバーコードをスキャンします。
3. 付録のASCII テーブル表から ASCII コードのキャラクタを調べます。
4. 付録のASCII コード表バーコードをスキャンします。
5. “設定終了”をスキャンしてください。
6. G2 も同じプロセスを繰り返してください。
7. “設定終了”をスキャンしてください。

G1/G2 キャラクタ挿入位置:「0」の場合キャラクタは挿入できません。

1. 頁右上にある“設定開始”のバーコードをスキャンします。
2. 次頁の“G1 キャラクタインストールポジション”をスキャンします。
3. 付録のASCII テーブルをチェックします。
4. 付録のASCII コード表にあるバーコードをスキャンしてください。
5. 頁右下にある“設定終了”をスキャンしてください。
6. G2 キャラクタ挿入位置も同じプロセスを繰り返してください。

コードトランスミッション:アプリケーションが、コード(バーコードタイプID)を必要ならば“ON”に設定してください。形式は ID+バーコードデータです。

G1 キャラクタ(デフォルト:00)



付録 A

G2 キャラクタ (デフォルト:00)



付録 A

G1 キャラクタ位置(デフォルト:00)



付録 A

G2 キャラクタ位置(デフォルト:00)



付録 A

設定終了



設定開始



コード ID の転送



ON



<OFF>

G1・G2 キャラクタインストール設定方法

例: データ: EAN-13 4718055318600

挿入文字: AA

結果: AA4718055318600



設定開始



G1 Character Insertion



4

A と設定したい場合、P. 43ASCII コード表で 4 列目の 1 行目が A となるので、41 と読み込みます。



1



4

2 桁以上付け加えたい場合、Confirm を読み込む前にもう 1 文字分のコードも読み込みます。



1

設定終了





Confirm



G1 Character Insertion Position



0

先頭



0



Confirm



EAN-13 Select Insertion G1/G2

(EAN-13 以外の場合、この部分に対応した

「先頭に文字コードを挿入」のコードをスキャンしてください。)



0



1

Insertion G1 (G2 の場合は 02)



Confirm



設定終了



2.5 その他の設定

スキャン精度: 読み取りを 1 回または 2 回に設定できます。設定回数を増やした場合、誤読を減少させる事ができますが、読取速度は少し落ちます。

設定データチェック回数



< 1 回 >



2 回





Chap.3 バーコードインストール

3.1 UPC-A

設定



OFF



<ON>

コード ID (Default: F)



<20H-7EH>

UPC-A を EAN-13 に変換



<OFF>



ON

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭の0を削除する。



<OFF>



ON

◎JAN コードで頭に 0 を付ける場合
(000012345670→0000012345670)

設定開始



UPC-A を EAN-13 に変換の ON



設定終了



先頭データの削除 (デフォルト:00)



<00H-0DH>

例 :

データ: 4718055318600

削除桁数: 2

結果: 18055318600



設定開始



UPC-A 先頭データ削除 設定コード



0

2 桁



2



Confirm



設定終了



設定開始



終端データの削除 (デフォルト:00)



<00H-0DH>

例:

データ: 4718055318600

削除桁数 : 2

結果: 47180553186



設定開始



UPC-A 終端データ削除 設定コード



0

2 桁



2



Confirm



設定終了

設定終了



設定開始



先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

Add-On 2/5



<None>



2 digit



5 digit



2 or 5 digit

設定終了



設定開始



3.2 UPC-E

設定



OFF

コード ID (デフォルト:G)



<20H-7EH>

UPC-E を UPC-A に変換



<OFF>

チェック文字の転送



OFF

先頭の0を削除する。



<OFF>



<ON>



ON



<ON>



ON

先頭データの削除(デフォルト:00)



(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の

<00H-08H>

部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の

<00H-08H>

部分をこのコードに変更します。)

設定終了



設定開始



先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の

<00H-02H>

部分をこのコードに変更します。)

Add-On 2/5



<None>



5digit



2digit



2 or 5 digit

設定終了



設定開始



3.3 EAN-13

設定



OFF



<ON>

コード ID (デフォルト: H)



<20H-7EH>

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-0DH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-0DH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入 (デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

設定終了



設定開始



Add-On 2/5



<None>



2 Digit



5 Digit



2 or 5 Digit

ISBN/ISSN 変換



<OFF>



ON

設定終了





3.4 EAN-8

設定



OFF



<ON>

コード ID (Default: I)



<20H-7EH>

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-08H>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-08H>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

Add-On 2/5



<None>



2 digit



5 digit



2 or 5 digit



3.5 Code 39

設定



OFF



<ON>

コード ID (デフォルト: J)



(20H-7EH)

チェック



<OFF>



ON

チェック文字の転送



OFF

◎チェック文字を OFF にする時
チェック欄の ON を読んでから
チェック文字の転送欄の OFF を読む



<ON>

チェックサム



<OFF>



ON

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-32H>

最大設定幅(デフォルト:32H)



<00H-32H>



設定開始



フォーマット



<Standard Code39>



Full-featured Code39

スタート・ストップ文字の転送



<OFF>



ON

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-32H>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-32H>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

設定終了



設定開始



3.6 Codabar

設定



OFF



<ON>

コードID (デフォルト: K)



<20H-7EH>

チェック



OFF



<ON>

チェック文字の転送



OFF



<ON>

チェックサム



<OFF>



ON

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-7EH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-7EH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

設定終了



設定開始



3.6 Codabar

Start / End キャラクタタイプ



<ABCD/ABCD>



abcd/tn*e



abcd/abcd

スタート・ストップ文字の転送



OFF



<ON>

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-3CH>

最大設定幅



<00H-3CH>

設定終了



設定開始



3.7 Code93

設定



OFF

コードID (デフォルト: L)



<20H-7EH>



<ON>

チェック



OFF

チェック文字の転送



<OFF>



<ON>



ON

先頭データの削除 (デフォルト:00)



<00H-7EH>

(P.19 の設定方「UPC 先

頭データ削除 設定コード」の

終端データの削除 (デフォルト:00)



<00H-7EH>

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-50H>

最大設定幅(デフォルト:00)



<00H-50H>

設定終了





3.8 Code 128

設定



OFF



<ON>

コード ID (デフォルト: M)



<20H-7EH>

チェック



OFF



<ON>

チェック文字の転送



<OFF>



ON

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-7FH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-7FH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-7FH>

最大設定幅(デフォルト:7FH)



<00H-7FH>



UCC/EAN128



<OFF>



ON

FNC1 トランスミット



<OFF>



ON

FNC2 チェックサム



<OFF>



ON





3.9 Interleaved 2 of 5
設定



OFF



<ON>

コードID (デフォルト: N)



<20H-7EH>

チェック



<OFF>



ON

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-7EH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-7EH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00H)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-7FH>

最大設定幅(デフォルト:7FH)



<00H-7FH>



3.10 Industrial 2 of 5
設定



<OFF>



ON

コードID (デフォルト: 0)



<00H-7EH>

チェック



<OFF>



ON

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-32H>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-32H>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入 (デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-32H>

最大設定幅(デフォルト:32H)



<00H-32H>





3.11 Matrix 2 of 5

設定



<OFF>



ON

コード ID (デフォルト: P)



<20H-7EH>

チェック



<OFF>



ON

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-50H>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-50H>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-50H>

最大設定幅(デフォルト:50H)



<00H-50H>



3.12 MSI / Plessey

設定



<OFF>



ON

コード ID (デフォルト: R)



<20H-7EH>

チェック



<OFF>



MOD 11/10



MOD 10



MOD 10/10

チェック文字の転送



OFF



<ON>

先頭データの削除 (デフォルト:00)



<00H-3CH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除 (デフォルト:00)



<00H-3CH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入(デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)



設定開始



最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-3CH>

最大設定幅(デフォルト:3CH)



<00H-3CH>

設定終了



設定開始



3.13 CODE32

設定



<OFF>

コードID (デフォルト: S)



<20H-7FH>

チェック



<OFF>

チェック文字の転送



OFF



ON



ON



<ON>

先頭データの削除(デフォルト:00)



<00H-0AH>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除(デフォルト:00)



<00H-0AH>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入 (デフォルト:00)



<00-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

設定終了





3.14 Code 11

設定



<OFF>



ON

コードID (デフォルト: T)



<20H-7EH>

チェック



<OFF>



ON

チェック文字の転送



<OFF>



ON

先頭データの削除 (デフォルト:00)



<00H-50H>

(P.19 の設定方法「UPC-A 先頭データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

終端データの削除 (デフォルト:00)



<00H-50H>

(P.20 の設定方法「UPC-A 終端データ削除 設定コード」の部分をこのコードに変更します。)

先頭に文字コードを挿入 (デフォルト:00)



<00H-02H>

(P.15 の設定方法「EAN-13 Select Insertion G1/G2」の部分をこのコードに変更します。)

最小設定幅(デフォルト:00)



<00H-50H>

最大設定幅(デフォルト:50H)



<00H-50H>



付録 A -- 16 進テーブルコード表



0



A



1



B



2



C



3



D



4



E



5



F



6



Y



7



N



8



Confirm



9





ASCII テーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	G	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL



ファンクション
キーコード





バーコードの種類	コード ID
Interleave 25	N
Code 39	J
Code 128	M
Codabar(NW7)	K
Italy Pharmacode(CODE32)	S
Code 93	L
Industrial 25	O
Matrix 25	P
UPCA	F
UPCE	G
EAN13	H
EAN8	I
MSI/Plessey	R
Code 11	T

